平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	自治会集会所整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	○
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	笠井　真利子			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	鎌ケ谷第二区連合自治会館建て替えの助成を行う。
②①に基づく取組み結果	鎌ケ谷第二区連合自治会館建替えに関する、解体事業及び新築事業への助成事業が完了した。

③平成27年度に取組む改革・改善内容	自治会集会所を所有していない新山町会に対して、集会所新築の助成を行う。

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	自治会集会所の建設を予定している自治会	意図（対象をどうするのか）	地域コミュニティと自治会活動の活性化を図り、自治会加入率増加にもつながる。
②事務事業の概要		地域のコミュニティ活動及び福祉、環境、防災の拠点となる自治会集会所への新築等に際し補助金を助成するもの。		
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）		自治会集会所の老朽化が進んでいることから、早期着工、早期建設に向けた要望が増加することが予想される。		

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	鎌ケ谷第二区連合自治会館解体・新築事業への補助金交付

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	自治会加入世帯数	29,398	29,407	29,442	世帯	業務取得
	ii	自治会加入率	68	68	67	%	業務取得
	iii						

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	21,010	33,623	金額（千円）	内容	33,000
国支出金（千円）			33,000	新築補助	
県支出金（千円）			623	解体補助	
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	21,010	33,623			33,000

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	自治会集会所の建て替えを希望している自治会が複数あることから、それぞれの自治会との連絡調整を行っていく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	集会所を所有していない自治会や、集会所の老朽化が激しい自治会が複数あるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	鎌ケ谷第二区自治会館解体・新築事業への補助金交付
②計画に対する事業実績	鎌ケ谷第二区連合自治会館解体・新築事業への補助金を交付した。
③達成状況	完了
④未完了・非着手の理由	

平成26年度事業費の状況（単位；千円）						
計画事業費	予算額			決算額		
33,623	33,623	当初	33,623	33,623	H25からの繰越	0
		H25⇒26繰越	0			
		補正	0		現年分	33,623
		流用・充当	0			
平成27年度への繰越額（単位；千円）		0				

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	コミュニティセンターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	13	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	笠井　真利子			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	非常勤職員が常駐する3館（鎌ケ谷、南初富、道野辺中央）について、指定管理者制度を導入するための手続きを行う。
②①に基づく取組み結果	鎌ケ谷、南初富、道野辺中央の3館において、指定管理者制度導入の手続きを行い、平成27年4月より導入されることとなった。

③平成27年度に取組む改革・改善内容	今年度から始まった指定管理者制度について、モニタリングについて方法を検討し、実施する。

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	地域住民	意図（対象をどうするのか）	市民相互の交流を深め、人間性豊かな地域社会の形成を図る。
②事務事業の概要		コミュニティエリア毎に整備されている6館のコミュニティセンター及び軽井沢集会所について、市民の自主的活動の場を提供するため、施設の維持管理を行う。		
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）		市民交流を深め、人間性豊かな地域社会づくりを進める上で、市民にとって身近な地域活動の拠点となっている。		

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	鎌ケ谷、南初富、道野辺中央の3館における、指定管理者制度の導入

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	①1施設当たりの利用者数	16,392	17,958	17,818	人	業務取得
	ii	②1施設当たりの管理運営費	7,174	8,078	8,612	千円	業務取得
	iii	③一人当たりの管理運営費	438	450	483	円	業務取得

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	48,831	53,159	金額（千円）	内容	55,095
国支出金（千円）			15,050	賃金	
県支出金（千円）			10,813	委託料	
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	48,831	53,159			55,095

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	指定管理者制度が導入された3館について、モニタリングについて方法を検討した上で実施し、指定管理者に対する適正な管理を行う。

②評価						
	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	コミュニティセンターは、地域住民の活動及び交流の拠点となっており、今後も多くの利用が見込まれるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	
②計画に対する事業実績	
③達成状況	
④未完了・非着手の理由	

平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
計画事業費	予算額			決算額	
		当初			H25からの繰越	
		H25⇒26繰越			
		補正			現年分	
		流用・充当			
平成27年度への繰越額（単位；千円）					

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	コミュニティセンター等改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	13	○
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	笠井　真利子			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	北中沢コミュニティセンター外壁・屋上防水、空調設備改修工事を前年度から繰越し行う。また、南初富コミュニティセンター外壁・屋上防水工事を行う。
②①に基づく取組み結果	北中沢コミュニティセンターの外壁・屋上防水改修工事及び南初富コミュニティセンター外壁・屋上防水工事を行った。

③平成27年度に取組む改革・改善内容	鎌ケ谷コミュニティセンター外壁補修工事設計委託及び軽井沢地区集会所外壁・屋上防水改修工事設計委託を行う。

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	地域住民	意図（対象をどうするのか）	コミュニティセンターの適正な維持管理を図ることにより、地域コミュニティの活性化を図る。
②事務事業の概要	公共施設の長寿命化に関する基本方針に基づき、コミュニティセンター設備の改修を行うもの。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	各施設とも建築年数が経過し、老朽化が進んでいる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	北中沢コミュニティセンター外壁・屋上防水、空調設備改修工事及び南初富コミュニティセンター外壁・屋上防水工事

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	①1施設当たりの利用者数	16,392	17,958	17,818	人	業務取得
	ii	②1施設当たりの管理運営費	7,174	8,078	8,612	千円	業務取得
	iii	③1人当たりの管理運営費	438	450	483	円	業務取得

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	17,354	65,476	金額（千円）	内容	2,635
国支出金（千円）	800		35,838	北中沢外壁・屋上工事	
県支出金（千円）	0		20,630	北中沢空調工事	
市債その他（千円）	0	45,400	8,856	南初富外壁・屋上工事	
一般財源（千円）	16,554	20,076			2,635

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	各施設の老朽化が進み、維持管理費用がかさむ状況となっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	公共施設の長寿命化に関する基本方針に基づき、今後も計画的な改修が必要となるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	公共施設の長寿命化計画
②計画に対する事業実績	北中沢コミュニティセンター外壁・屋上防水改修、空調改修工事及び南初富コミュニティセンター外壁・屋上防水工事
③達成状況	完了
④未完了・非着手の理由	

平成26年度事業費の状況（単位；千円）						
計画事業費	予算額			決算額		
68,837	65,701	当初	20,000	65,476	H25からの繰越	48,837
		H25⇒26繰越	48,837			
		補正	0		現年分	16,639
		流用・充当	−3,137			
平成27年度への繰越額（単位；千円）		0				